

北海道園芸研究談話会 研究発表要領

1. 使用機材とプレゼンテーションソフトウェア

- 1) 会場で用意する機材はノートパソコンに接続した液晶プロジェクターとする。OHP および写真スライドは使用しない。
- 2) ノートパソコンは事務局で用意した Windows 機 (OS は Windows XP Home、Pro) を使用し、個人のノートパソコンは使用しない。
- 3) プレゼンテーションソフトウェアは Microsoft PowerPoint (PPT) 2003 以降を使用する。発表者は作成したファイルが PPT2003 以降で正しく動作することを事前に確認する。特に Mac で作成した場合は Windows 機種での動作を確認が必要。
- 4) メディアは Windows 機で読み取りできる CD-ROM のみとし、発表者が用意する。読み取りに専用ソフトが必要なものは避ける。Mac フォーマットは使用しない。USB フラッシュメモリはウイルス対策のため、原則使用不可とする。

2. プレゼンテーションファイルの仕様

- 1) できるだけ Microsoft PowerPoint (PPT) で作成する。互換ソフトで作成後、ファイル変換したものは動作確認を十分に行う。
- 2) 発表に使用する CD-ROM には 発表に使用するファイルのみを入れ、ファイル名は課題番号 (‘野菜-3’ など) を入れる。
- 3) ファイル容量は可能な限り小さくし、大きくても 20MB 以下にする。写真の貼り付けはファイルが大きくなりやすいので、解像度に問題がない範囲で圧縮し、デジタルカメラで撮影あるいはスキャナなどで取り込んだものをそのまま用いない。
- 4) アニメーションの多用は誤操作、時間ロスにつながるので控える。なお、事務局では動画再生ソフトは用意しない。
- 5) 発表の題目と発表者名は、講演申込時に連絡したものとし、原則として変更しない。
- 6) 会場のノートパソコンにウイルスを感染させないよう、事前にチェックを行う。
- 7) パソコンとの接続不良など不測の事態に備えて、ファイルのバックアップ CD-ROM あるいは USB メモリを用意する。(バックアップメディアもウイルスチェックを行うこと)

3. 映写準備

- 1) 十分な時間の余裕をもって (一つ前の発表が始まるまでに)、各会場前方の映写係に CD-ROM を渡すようにする。
- 2) 各会場には液晶プロジェクター 1 台とノートパソコン 2 台を用意する。
- 3) 発表者から受け取った CD-ROM をパソコンに挿入し、直接読み込んで映写する (パソコンのハードディスクにはコピーしない)。
- 4) 発表中のパソコン操作は映写係が行う。
- 5) 次の発表者の分は映写係がもう一台のパソコンに CD-ROM を挿入してディスプレイ上で動作確認し、一枚目のシートが出た状態で待機する。

4. 発表

一鈴 10 分、二鈴 12 分、三鈴 15 分とする (予定)。二鈴までに発表を終えるようにする。

5. CD-ROM の返却と会報作成要領配布

発表を終えた発表者は会場を出る前に、映写係から CD-ROM と会報原稿作成要領を必ず受け取る。複数課題を発表した場合も一課題毎に受け取る。